

# 第14回KHJ全国大会in北海道 大会宣言

1. 私たちは、ひきこもっている本人や親、兄弟姉妹の誰もが幸せに生きる権利があることを広く社会に理解してもらうために、継続して幸福を求めていく権利を有することを宣言する。
2. 私たちは、全国組織を有する唯一のひきこもり当事者団体「ひきこもり家族会連合会」として、孤立するのは自己責任ではなく、地域共生社会の理念を全国の各自治体に伝えていくことを目指す。
3. 私たちは、ひきこもっている本人とその家族が困ったときに悩みを抱えることなく、安心して相談できるよう、地域に受け皿づくりと生き方の多様性を認められる地域社会づくりを目指す。
4. 私たちは、ひきこもっている本人とその家族が本当に必要としている安心してつながれる地域資源の創出のために、就労などの成果を求める目標だけではなく、まずは今ある生活の困りごとを応援していけるような仕組みづくりを求める。
5. 私たちは、ひきこもり支援の年齢枠が、全国で撤廃されることを求める。
6. 私たちは、以上の項目を幅広く、産・官・民・学が協働することによって、誰もが孤立しないで、自分らしく安心して暮らせる共生社会の実現を目指す。

令和元年10月13日

特定非営利活動法人KHJ 全国ひきこもり家族会連合会